

Wikiprint Book

Title: ログ

Subject: SilverFrost - TracLogging

Version: 3

Date: 12/20/25 12:08:24

SilverFrost 目次

ログ	3
対応しているログの種類	3
ログレベル	3
ログの出力フォーマット	3

## ログ

Trac は Python の標準 [ロギングモジュール](#) (訳注: [日本語ドキュメント](#)) を使用したシステムメッセージのログ出力に対応しています。

ログは [trac.ini](#) の `[logging]` セクションで設定することができます。

### 対応しているログの種類

ログの出力方法は [trac.ini](#) の `log_type` オプションで設定されます。以下の値が使用できます:

`none`

すべてのログメッセージを抑制する。

`file`

ログをファイルに出力する。 [trac.ini](#) の `log_file` ディレクティブで指定する。

`stderr`

コンソールにすべてのログを出力する。 ([tracd](#) のみ)

`syslog`

(UNIX) 名前付きパイプ `/dev/log` を通してすべてのログメッセージをローカルの `syslog` に送信する。 `syslog` はデフォルトでファイル `/var/log/messages` に出力される。

`eventlog`

(Windows) イベントログに Trac のログを出力する。

### ログレベル

出力するログの冗長レベルは [trac.ini](#) の `log_level`

オプションで指定します。ログレベルは出力するログメッセージの最低限のレベルを定義します。レベルには下記の種類があります:

CRITICAL

最も重要なエラーのみ。たいていは致命的なメッセージです。

ERROR

処理失敗、バグ、エラー。

WARN

警告、処理を中断するほどではないイベント。

INFO

診断メッセージ。すべてのプロセスについてのログ情報。

DEBUG

トレースメッセージ、プロファイリングなど。

### ログの出力フォーマット

Trac 0.10.4 以降 ( [#2844](#) を参照) では、 [trac.ini](#) の `log_format`

オプションを使用することで、ログエントリーの出力フォーマットを設定することが可能です。フォーマットは [Python ロギングフォーマット変数](#) を含むことができる文字列です。そのうえ、以下の Trac 特有の変数を使用することができます:

`$(basename)s`

Environment のベースネーム

`$(path)s`

Environment の絶対パス

`$(project)s`

プロジェクト名

Note: 変数には、パーセント記号 (`%(...)s`) ではなく、ドル記号 (`$(...)s`) を使用します。

デフォルトのフォーマットは以下の通りです:

```
log_format = Trac[$(module)s] $(levelname)s: $(message)s
```

以下は、ログにプロジェクト名を出力する例です（全てのログが同じ場所（例えば `syslog`）に出力される複数プロジェクト環境で役に立ちます）。この例では、プロジェクトを特定するのに `basename` を使用しています：

```
log_format = Trac[${basename}s:${module}s] ${levelname}s: ${message}s
```

---

See also: [TracIni](#), [TracGuide](#), [TracEnvironment](#)